

今月の



隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【CVPPP】

英 Comprehensive Violence Prevention and Protection Programme

和 包括的暴力防止プログラム

【用語解説】

医療，特に精神医療の現場では，少なからず暴力の問題がつきまとう。欧米では1970年代からすでに患者の暴力に適切に対応するための取り組みがなされてきた。英国の Control and Restraint (C&R) 法などが代表的である。我が国では長らく，そういった「暴力そのもの」に対処するための技法というものは議論されてこなかったが，肥前精神医療センターが，日本の現状に即した暴力への介入方法として，包括的暴力防止プログラム (Comprehensive Violence Prevention & Protection Programme: CVPPP) を開発し，2004年から研修が開催されている。

CVPPP は，単に身体的介入技術としてのものではなく，攻撃的な患者にケアとして如何に適切に関わるかという治療的な視点で構成されている。リスクアセスメントの方法，コミュニケーション技術による興奮状態への介入法 (ディエスカレーション)，身体的介入技法 (チームテクニクス，ブレイクアウェイ)，当事者及び暴力にかかわったスタッフに対する心理的サポート (ディブリーフィング) から成る，包括的なプログラムである。

その技術の習得については，「CVPPP トレーナー養成研修」として4日間のトレーニングコースが設けられている。理論の学習，実技演習，また最終日には実際の現場さながらのロールプレイ演習が行われる。このトレーナー養成研修を受けた者だけが「トレーナー」として自施設内で他のスタッフに技術を伝えることが認められている。施設外の者にも技術を伝えるには，さらに「インストラクター」の認定が必要となる。

【参考図書】

1. 包括的暴力防止プログラム認定委員会編. 医療職のための包括的暴力防止プログラム：DVDブック. 東京；医学書院，2005.
2. 「包括的暴力防止プログラム (Comprehensive Violence Prevention and Protection Programme: CVPPP) について」
(<https://www.e-rapport.jp/team/action/sample/sample11/01.html>)

(国立国際医療研究センター国府台病院 精神科 中野 知恵子)

本誌122pに記載